

私の好きなとんぼの本④

中村好文 建築家



なかむら・よしふみ 1948年千葉県生まれ。
武蔵野美術大学建築学科卒業。81年、設計事務所「レミングハウス」を設立。87年「三谷さんの家」で吉岡賞、93年「一連の住宅作品」で吉田五十八賞特別賞を受賞。著書に『住宅巡礼』『住宅読本』『意中の建築（上・下）』『中村好文 小屋から家へ』など。

とっておきの「人」

生まれつき好奇心が強く、興味の幅も広い
ほうですが、「とんぼの本」は、そうしたこ
らの正体を見透かしたようなラインナップで、
書棚の前に立つばくの目を迷わせ、心を惑わ
せてくれます。

とりわけ僕の好きなのは、美術を、生活を、
旅を、歴史を、とっておきの「人物」と重ね
合わせて紹介してくれる一連のシリーズ。

選んだ5冊も、期せずしてそうした本にな
りました。



遠藤周作で読む
イエスと十二人の弟子
遠藤周作 遠藤順子
芸術新潮編集部編
128頁 / 1365円



須賀敦子が歩いた道
須賀敦子 松山巖
アレクサンドロ・ジェレヴィーニ
芸術新潮編集部
128頁 / 1470円



池波正太郎が
残したかった「風景」
池波正太郎 重金敦之
土屋郁子 近藤文夫ほか
144頁 / 1365円



沢村貞子の献立日記
高橋みどり 黒柳徹子
山田太 笹本恒子ほか
128頁 / 1680円



洲之内徹
絵のある一生
洲之内徹 関川夏央
丹尾安典 大倉宏ほか
144頁 / 1680円